

関東明教第12号 目次

母校沿革	4
同窓会関東支部沿革	5
校歌	6
巻頭言	
「同窓会を盛り上げよう」	上野 光保(支部長) S 45
正岡子規と秋山眞之に学ぶ	丹下 敬治(校長)
お接待の心	村上 慎吾(同窓会長) S 36
総会・懇親会報告	
総会・懇親会報告	西原 申介 S 50
収支報告	13
講演会要旨「坂の上の雲のまちづくり」	松山市長 中村 時広氏
平成22年度 総会・懇親会出席者	16
カラーフォトアルバム	17
役員名簿／物故者／平成23年度総会へのお誘い	25
寄付者一覧	26
会費納入者一覧	27
会則	31
関東明教特集	
1 NHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」	
～凛としたこのままでいい～ 藤本隆宏、一途に広瀬を演ず	32
2 東京子規散歩	42
同期会報告	
S 20(54)／松中54期会報告	岡野 定郎 S 50
S 26併／第21回関東ばったの会総会記	斎藤 剛 S 51

S 28／東京二八会	辻田 功 S 52
S 31／東京八起会旅行	川越と奥秩父 森 俊朗 S 53
S 32／S 32年卒同期会報告	依田のぞみ(宮本) S 54
S 33／参賛会東京支部の支部会と昼食会	浅井 清 S 55
S 39／第28回関東39会 紅葉の京都(松山・関西との合同同期会)	前田千恵子(檜垣) S 56
S 41／第6回関東四一会及び東高ゆかりの東京散策	
S 43／「船頭さん」43期・関東関西合同還暦同期会	河村 浩 S 57
S 44／獅子の会	木村 一三 S 58
S 45／S 45年卒関東同期会	松浦 博 S 59
S 46／東高46年卒業同期会	坂東 伸子(竹内) S 60
S 50／S 50年卒同期会 No. 5	田淵 廣美(濱岡) S 61
S 52／昭和52年卒関東同期会報告	西本 真一 S 62
S 53／第6回同窓会を、53階(地上210m)で開催	緒方 郁夫 S 63
S 54／関東百年会	丹下 誠司 S 64
S 57／S 57卒第一回関東同窓会の開催について	森 康祐 S 65
部活めぐり	金子 信 S 66
東高ハンドボール部四十二年史	宇和川眞信 S 53 S 67
茶道部	森下 緑(重松) S 45 S 81
茶道部	有田 美文 S 45 S 82
茶道部	井伊 喜尚 S 49 S 82
茶道部	梅田 智子 S 59 S 83
編集長のひとりごと	
OB会報告	
ラグビー部／ラグビー部関東OB会の報告	神井 弘之 S 60 S 86

サッカー部／生涯スポーツとしてのサッカー 榊田 秀芳 S 57… 88
 野球部／明教倶楽部関東支部の集い
 (大学野球部員の激励を兼ねて) 篠原 一郎 S 53… 90

投稿

関東四一会の皆様への松山駐在特派員取材奮闘記

「まつやま」の「おもい」 橘 直樹 S 41… 92
 「随感」定年退職後は植木職に 金崎 清彦 S 23… 93
 古稀からの俳句の楽しみ 宮本 忍 S 33… 94
 風に吹かれて―「弾の下をくぐって」 渡部 数馬 S 33… 96
 松本 光正 S 52… 98
 米国駐在記 塩出 光一 S 53… 100

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処について

吾輩は犬である 中畑 康樹 S 57… 102
 渡部 勲 S 58… 104
 我が心の故郷・松山 大喜多妙子 S 59… 106
 この4年間を振り返って 益田総一郎 H 19… 108

訃報・評伝・追悼 野球部元監督 稲見達彦氏逝去… 110
 懐かしき中学校を訪ねて

川内 白戸 伸一 S 45… 112
 勝山 森 康祐 S 54… 114

OB・OG活動情報

日本テニス協会ベテランランキング1位／船引孝昭氏(S 32)… 116
 著書4冊目の出版記念パーティー開催／裏地桂子氏(S 57)… 117
 第14回文化庁メディア芸術祭優秀賞受賞／高橋享平氏(H 18)… 118
 ニュース&トピックス… 119

ブックス… 124
 母校便り 阿久津知(松山東高教諭) H 元… 126
 支部便り

近畿 吉田 達朗 S 58… 128
 静岡 船引 恭平 S 32… 129

静岡特別 貴重な出会いに感謝 船引 恭平 S 32… 130
 東海 矢野 達也 S 54… 132

名刺広告… 133
 企業広告… 145

編集後記… 152

■題字 柴田祐昭 S 31
 ■カット 小椋勇記夫 S 32 倉橋信廣 S 44

なお、本文中の時制の表示、筆者ならびに登場人物の赴任地や肩書や役職などの人事情報などは、すべて事象が起きたときあるいは執筆時のものになっています。筆者のそのときの気持ちを尊重してのもので、発刊時とは違っていることがあります。したがって編集部として「今年」を「去年」に手直ししたり、「元」や「当時」などの表記も付記したりはいたしません。ご了承ください。なお、執筆者の()は在学中の姓です。

表紙イラスト小椋勇記夫(S32)



このところ表紙を担当させて頂いていますが、今回はダブルの大物対象が候補に挙がり苦悩することになりました。一番目は子規を表紙に表現する。明るい子規は野球姿で、俳句の子規は根岸の子規庵にある暗いイメージです。それぞれ同窓会誌の表紙としては難しく、かなり悩んだ末にもう一つの大物、石鎚山天狗岳に助けてもらうことになりました。
 (小椋勇記夫 記)